

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

## 令和4年度

### ◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

### ◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

### ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月6日(火)(17:40~18:45)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 中島・中川正・原田・岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	7人	0人	15人

前回の改善計画	施設の設備や利用中の様子など写真や動画でスライドショーの作成を行う。機関紙の作成を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	写真は撮れているが動画の撮影や編集する余裕がなく、スライドショーの作成には至らなかったが、写真はたくさん撮れているので機関誌はこまめに毎月発行するように改善できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	14	1	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	14	1	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	15	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	13	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用中の写真などを連絡帳に貼って見てもらったり、機関誌の継続に加えて毎月「プチ」として施設の雰囲気わかるよう内容豊かなものになっている。また今まで活用できていなかったホームページに情報を掲載し、多くの方の目に入るよう工夫している。初期支援に関しては本人のニーズ、家族の思いに添うよう支援を開始し、よく観察、ミーティングでの情報共有をはかり、慣れない時期の不安解消につとめている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>スライドショー作成の具体的な計画を決めておらず、業務負担も大きいため作成には取り組めなかった。相談～利用開始まで時間が短く、支援内容の検討に時間がかかり十分に共有できなかったり、複数人が同時期に開始となると情報が理解できないまま支援に入ることがあった。新規面接や見学・体験時にかたぎはらの強み、個性を高められるハード・ソフトがなく、公平性や優先順位に迷うため迅速な判断が難しい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>施設の設備や利用中の様子を動画で撮ったり、写真でスライドショーの作成を行う。機関誌は発行頻度も増えたので回覧板に入れてもらったり、玄関外にある掲示板に貼って地域の人にPRをする。また写真掲載の可否を一覧にしたものを作って置く。近隣の方に会えた時には挨拶にとどまらず可能な範囲で情報共有する。初期支援が始まったら1週間をめぐりに共有の時間を取り、ケアの方向性を確認する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月6日(火) (17:40~18:45)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中島・中川正・原田・岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	9人	2人	15人

前回の改善計画
「自分たちで(サービス計画)作っていないからできない」ではなく、サービス計画の目標は大きなものなので身近な目標が判るライフサポートプラン、小さなゴールを設定し、それを目指す話し合いを日々行う場を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
ライフサポートプランが何かをまだ理解しきれていない。また話し合いは日々行っているが、ゴールの共有ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	5	9	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	5	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	1	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	4	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ケース会議は毎月継続し「本人のゴール」「～したい」が叶えられるよう理解し、支援に反映されていることもある。ケアプランや手順書を通して支援を行い、プチミーティングでの振り返りから次の対応に活かしている。普段のコミュニケーションで本人の思いを考え、尊重し、共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	業務に追われて余裕がなく「～したい」を意識したり関わっていないこともあった。ライフサポートプランの作成手順、必要性の理解が不足しており作成、活用ができなかった。自宅での生活や環境などではなくセンターでの生活に意識が向いており、在宅生活の維持向上の目標に沿えていなかった。また今の課題への検討が多く、思いを共有しても言語化できていなかったり、決定内容が継続できている部分と途中で止まっている部分があり評価ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ライフサポートプランの使い方をまず知り、作成したものを手順書に挟んで見える化することでゴールの共有をはかるなど活用につなげる。そのためにも研修で理解を深め、利用者の自己実現の尊重につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月6日(火)(17:40~18:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 中島・中川正・原田・岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	14人	1人	15人

**前回の改善計画**  
 今までは全体で取り組んでいたが、担当者を決めてシートの充実を図る。記載方法も、キーワードで絞り込み出来るような仕組みの検討を行う。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 担当も決められておらず、シートもケース会議で使用していたが、種類によって使い方も十分ではなかった。記録もシステムを使いこなせていないのでキーワード絞り込みなどもできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	13	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	14	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	14	1	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	13	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	14	1	0	15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 本人の気持ちや体調の変化を見て日々のミーティングによる共有と検討、即時に実行できている。毎月ケース会議でセンター方式シートを活用し、家族にもシートの記入を依頼し本人を知ろうとしている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 担当者を決めていないのと勤務時間内に事務をする時間が取れないので、シートへの記入ができず意思表示の難しい方や独居の方は特に以前の暮らし方について把握ができていない。またキーワードで絞り込みできる仕組みを具体的に進められておらず、できるところまで支援することで生活力を低下させてしまっていた。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 担当を決めて、手順書やライフサポートプランとのつながりを意識しながら、センター方式シートを活用する。システムへの記録方法を周知し使いやすい方法で使用を統一、内容を分析して日常生活の支援に役立てる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月8日(木)(17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 福田、古山、中川正、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	4人	0人	15人

前回の改善計画	訪問時等のご近所の方との関わりを大切にし、繋がる(挨拶や会話)事を引き続き意識する。 A-4(私の支援マップシート)の充実を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	近隣の方への挨拶などは積極的に行っていた。ただ、個人情報保護の観点からあまり情報開示ができず共有をはかるのは難しかった。A-4シートの活用はあまりできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	6	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	12	3	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	12	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	13	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修などを通して地域との関わり的重要性を理解し、つながる事でよりよい支援ができることを再認識している。近隣からの相談にはできる限り対応し、近隣も利用者も困らないような支援を検討・調整してゴミ捨て支援など地域の協力も得ながら行えている。本人との会話でこれまでの生活スタイルをたずねたり、支援のない日は後日レシートで買物状況を把握したりしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人が地域と関われるように意識はしているが、地域資源や民生委員などを把握しきれておらず新たな結びつきができていない。A-4シートの活用に至らず、利用時間以外どのように過ごしておられるか不明な点が多く、特にレシートなどでの確認をしない人は把握ができない。協働についての検討が不足しており、残存能力を生かした生活支援への働きかけをしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個人情報の壁があるので、地域包括支援センターの協力を得ながら関わりのある民生委員、老人福祉委員などを把握する。また地域にどこまで情報を開示して良いか、開示方法等をあらかじめ本人・家族に確認しておき、つながりを意識した支援を目標とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月8日(木)(17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 福田、古山、中川正、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	12人	3人	0人	15人

前回の改善計画  
 通いの場が楽しいと思えるように、居心地のよい空間を大切に、個々の好きなことをしてもらいながら「役割」や「自信」を持った生活に繋げ、利用者同士の交流を通じて関係性の構築を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 個々の趣味等に合わせた場の提供は意識してきたが、コロナ禍で利用者同士の交流にも制限があり、役割や自信につながったとは言いにくい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	10	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	13	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	14	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	12	1	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 本人や家族のニーズ、体調に合わせて臨時利用、振替、短時間の通い、訪問、泊まり等に柔軟に対応しており、個人の希望や特性に応じたプログラムや役割を担ってもらっている。また日々の様子に合わせて複数の目で情報共有や支援方法の修正を行い、ミーティングを大切にしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 職員体制にも限界があり、利用者が不満を表明しないと積極的に関わるのが少ない。通いでは居心地が悪く家に帰ろうと不安が見られることが多く、日々の変化の中で何を希望されているのかの判断ができていない時がある。地域の特色を理解していないので、その方に必要な資源を使って支援ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 職員体制については業務改善を検討し、工夫する努力を行うことで柔軟な支援に結びつける。本人や家族のニーズを聞きながら、生活を再発掘し居心地の良い生活環境を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月15日(木) (17:40~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 森、中川正、原田、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	1人	15人

前回の改善計画	利用者の作成した箱を違う保育園等に渡せる機会を作り、地域との関わりづくりを継続する。 地域に認知して頂けるように、自施設発信のイベント等の企画する (例) 作品展やベランダカフェ
前回の改善計画に対する取組み結果	箱を渡すこととは別で、今年度は夏以降に自施設発信の地域交流イベントに取り組みました。作品展やベランダカフェには着手できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	7	0	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	5	2	5	14
②	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域への認知度向上に努め、認知症講座、七夕、京都市オレンジ色PJへの参加、施設マスコットキャラ投票協力、近隣コンビニとの協力体制、秋まつりの開催、地域の小学校でのフェスタへの出展、クリスマス飾りイベント等新しい取り組みができ、登録者以外の高齢者や子供に足を運んでもらえた。地域から笹を頂いたり公園体操にも参加、また担当者会議にCM以外も参加できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍でもあり地域行事に参加したり他施設に行くような取り組みは難しい。また業務調整が不足しており、自治体・他団体・地域包括等の会議にCM以外の参加ができていない。地域アセスメントの不足、情報収集のための連携不足もあり、地域のニーズがわからず連携・協働に結びついていない。保育所・児童館との直接交流、施設での作品展示会、ベランダカフェなどは次年度以降の課題とする。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 来年は開設5周年を迎えるため、5周年記念イベントを企画・実施、ニーズの把握のためにもアンケートを実施する。また継続して取り組める土台作りとして、地域で不要となったタオル等を寄付して頂き、利用者と共に雑巾等を縫って地域の学校に配ることで利用者の役割づくりと地域還元、またSDGsの取り組みにもつなげる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月15日(木) (17:40~18:30)

7. 運営

メンバー 森、中川正、原田、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	13人	2人	0人	15人

前回の改善計画	消防訓練のお誘いをする。 知ってもらう(認知)働きかけをする (例)チラシ配布、お昼ご飯、近隣施設(愛育園、京都保専)との関わりを持つ
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍でもあり消防訓練のお誘いはしていないが、知ってもらえる働きかけとしてイベントのチラシ配布を行い、七夕・秋まつり・クリスマスでは施設に足を運んでもらえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	10	5	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	2	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	7	0	15
③	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	9	6	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 「かたぎはら」を知ってもらうため、地域交流企画・運営、広報活動として広報誌やパンフレットの配布、ホームページの活用などで働きかけができ、地域住民と協働の取り組みができた。また利用者・家族・地域からの意見や苦情に向き合い改善し、運営に反映できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域に必要とされる拠点としての取り組みはまだできておらず、消防訓練のお誘いもできていない。利用者数が増えたことで業務が多忙でミーティングへの参加人数が減り、全員が思いを共有できにくくなっている。また地域から意見をもらう機会が少なく、近隣施設や地域と合同企画や運営はできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 参加したくなる消防訓練として、体験型(消火器の使い方、簡易担架の作り方、応急処置等)と豆知識、防災グッズの確認等を含めた形で企画・実施する。AEDの使い方訓練も交えて行ったり、アンケートを実施する。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月22日(木) (17:45~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 柿迫施設長、中川正、古山、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	3人	0人	15人

前回の改善計画  
復命研修の継続や復命研修の方法を検討(動画でポイントをまとめる)  
対面研修の場を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果  
内部研修では対面研修を基本として開催できている。復命・伝達研修が実施できておらず、動画でポイントをまとめることもできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	10	4	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	9	4	1	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	11	3	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	14	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
内部研修ではコロナ感染対策をしながらも、できるだけ対面研修で複数回に分けて実施している。少人数のプチ研修も開始、参集型とZoomを組み合わせた研修や伝達研修を盛り込んだ研修も実施している。またケース会議にてヒヤリ、事故、苦情について検証したり話し合いが行えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コロナ禍が継続しておりZoomでの研修が多く、体制上参加できないことが多かった。学んだ事を伝えたい気持ちはあるが、復命研修を動画やポイントでまとめるなど勤務時間内にすることが難しく、書面の回覧のみになっている。地域連絡会にはなかなか参加できる機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ケース会議・全体会議の時間を使って短時間でも良いので伝達研修を行う。そのためにも業務改善をして復命をまとめられる時間を作る。外部研修の情報発信と内部研修のさらなる充実をはかる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月22日(木) (17:45~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 柿迫施設長、中川正、古山、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	3人	0人	15人

前回の改善計画	相手の気持ちを自分の立場に置き替えて行動する。 遠くから声を掛けない意識を持つ(伝えたい方の傍まで行って声を掛けることで、声のトーンも下がり、丁寧な声掛けになる)、会議で定期的に振り返る日を作って、具体的に話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	相手の傍で話したり、場所を変えて話すなど人権を尊重する意識をもって接していた。会議での振り返りを行ない個人情報の取り扱いについて協議もできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6	3	0	15
②	虐待は行われていない	8	7	0	0	15
③	プライバシーが守られている	1	9	5	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	10	2	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	12	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
虐待防止の定期的な研修で意識づけ、身体拘束や不適切ケアについても考える機会を設けている。利用者の人権を尊重しようとする姿勢、虐待疑わしき時に協議し他機関へ相談ができている。ミーティングや引き継ぎ等、個人情報を共有する場所を変えることでプライバシーに配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者に関わる話を他利用者がある所で話す(電話、大声、長話)ことに慣れてしまったり、スピーチロックをしてしまっている。離設の危険性がある場合、命の危険性と権利擁護の天秤に悩みつつ利用者の手を引いて別の場所に行くよう誘導したり一時的に鍵をかけるなど拘束することがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
相手の気持ちを汲み取り、同じ目線で考えたり声色やペースを合わせたコミュニケーションをはかる。安心できる声かけとして事実ではない事(嘘)を伝える事に馴れず、心地良く過ごせるような声掛け等の工夫を行う。	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？  【前回の改善計画】 玄関が地域の方に分かりづらいため、センター北側、西側のスペース（窓や外壁等）を工夫して、施設がこの場所にある事をアピールする。	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>-----</p> <p>【前回の改善計画】 玄関が地域の方に分かりづらいため、センター北側、西側のスペース（窓や外壁等）を工夫して、施設がこの場所にある事をアピールする</p>	2		3
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>-----</p> <p>【前回の改善計画】 すこやかサロンや包括センターのイベントなどに参加する。</p>	4		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？  【前回の改善計画】 小規模の活動を知ってもらえる為にはどのような催しをしたら良いのかを、運営推進会議で、案を頂き、それらを企画、実施につなげられるようにしていきま。	4		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	5		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？  【前回の改善計画】 施設で防災訓練をする時は、ご近所にお知らせを配布する。 地域の防災訓練に参加する。 土砂災害等発生時に、近隣の方が施設に求めることなどを聞く意見交換会の開催を検討していきたい。	3		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	3	
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	3	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		1

以上で終了です。ありがとうございました。

## A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	1	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		1

## 【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・コロナ禍で活動に制限のある中でもいろいろ工夫されているのでは。
- ・変則勤務の中で常勤職員2/3以上の参加というのは難しい状況なので、少ない人数でも開催し努力されている様子が伺える。
- ・体制の厳しい中でも話し合いの機会は積極的に持たれているように思う。

## 【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・利用者さんへのケアを日常にされながら施設の事や地域に関する改善計画に向かって改善しようという努力はされていたと思う。
- ・人員体制が厳しかったりコロナ禍での制限を受けながら、地域とのかかわりの項目は「はい」にチェックがついた量が増えている。
- ・ホームページがまめに更新されるようになり、事業所の取組みがよく見える。機関紙の発行も増やされ、アピールにつながっている。

## 【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・今年はいろいろな取組みをされているのですぐに達成できているところもあれば、なかなか着手に至っていないところもあり、項目ごとの差があったよう。

## 【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・一生懸命取り組まれているように思う。
- ・職員間で意見交換もされ、できていないところの改善も具体的に出されているので、少しずつでもいいと思うので頑張ってください。

## 【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ禍で人の出入は慎重にならなければいけない中、いろいろな工夫がなされたと思う。
- ・玄関も明るく工夫されていて入りやすい雰囲気になっていると思う。
- ・平日は自由に入っていけるようになっているので閉鎖的ではない。土日祝は区社協が閉まっているので用心として閉めているのは良い。

【前回の改善計画】

- ・遠くからでも判る建物にする為、車道側や2、3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・見える位置に横断幕等は見えやすくして良い。
- ・看板等は国道沿いは目を引くようなものは禁止されているが、ここは府道なので良いのではないか。
- ・確認するのであれば環境省や建設省、地域推進課などに聞いてみたら教えてくれる。
- ・マスコットキャラクターを入れてはどうか
- ・車通りからは入口がわかりにくいので、わかるような表示は必要かもしれない

【今回の改善計画】 ※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	職員はあいさつできていますか？	4		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶はきちんとされていて、少しずつイベント等により知られる機会が多くなったと思われる。
- ・入口に区社協もあるので必要な時にはつないでもらっているのでも相談できている。
- ・地域のイベントがコロナ禍であまり動いていないが、公園体操など積極的に参加されている。

【前回の改善計画】

- ・遠くからでも判る建物にする為、車道側や2、3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。
- ・チラシを地域住民にポスティングする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・コロナ禍で地域との交流活動にあまりお誘いは出来なかったが、積極的に地域と関わろうと工夫されていたと思う。
- ・小学校で行われたフェスタには作品を展示してもらったりもしたが、当日に利用者の方を連れて見に来てくれたのは大変盛り上がり助かった。
- ・事業所としてはコロナでなかなか交流は難しい状況だが、よくやっておられると思う。やはり感染が怖いのと、何かあった時と思うと勇気が出ない。上手にタイミングを見てされているのだと思う。(他事業所意見)

【改善計画】※後日記入



D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・改善計画については大変な状況の中、一生懸命取り組まれていたように思う。
- ・地域のイベントに関しては小学校のフェスタや公園体操など、できる限り参加を促したり少しずつ調整して来ておられた。
- ・利用者以外でも心配な方がいらっしゃれば関わっていただけていると思う。

【前回の改善計画】

- ・イベントや会議は参加できるものは積極的に参加する。

【「地域に向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・本人の暮らしを支えるためにも地域に出る事を意識されていると思う。
- ・小規模多機能なのでいろいろな面から工夫がされている様子がうかがえる。

【改善計画】 ※後日記入。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			5
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	1		4
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1		4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	1		4
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	1		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・改善計画に書かれていた作品展は開催されていなかったが、フェスタという機会に作品を展示されていたので取り組みとしては出来ていたように思う。
- ・今年は第1回のみ対面でそれ以外はコロナにより書面開催となった。対面の時には気になる方のお話もあり、検討とまではいかななくても共有はできていた。

【前回の改善計画】

- ・健康第一に考え、また感染対策を講じながら作品展が開催できるよう、作品を準備、検討を重ねる。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・5月に「七夕でこういうことを考えています」という話があり、笹の提供の話にもつながって地域からも飾りをつけに来てもらっていた。
- ・事業の取り組みについては資料も使ってわかりやすく説明もされている。
- ・地域と一緒に取り組んで行きたいという姿勢が感じられる。

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3		2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	3	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	3	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の防災訓練は事業所にお誘いしていない。
- ・災害時は福祉避難所として活躍してもらいたい。
- ・ここは土砂災害の警戒区域となっているが、具体的な計画がどうなっているのかはわからないところがある。

【前回の改善計画】

- ・引き続き訓練への参加、見学のお誘いをし、自治会、包括等へも呼びかけていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議の日に合わせて防災訓練をしたことがある（他事業所意見）
- ・最近の防災訓練は避難所の運営に関する事が多く、避難訓練というよりもそちらの要素の方が強い。
- ・災害の種類によっても避難の仕方が変わってくる。
- ・地域での避難訓練の予定がわかれば教えてもらって、一緒に参加させてもらい、地域の避難の実情を知りたい。
- ・せっかく運営推進会議でのつながりもあるので、近隣事業所同士で助け合えるネットワークが出来ると心強い。

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	京都市社会福祉協議会	代表者	小石玖三主	法人・事業所の特徴	施設理念の「笑顔とぬくもりを大切に、寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に加え「かんきょうを変えず、たのしみながら、ぎょうじに参加し、はつらつと、らしい生活のお手伝いをします」の小規模多機能のコンセプトを意識しながら、在宅で暮らし続けていけるように、職員間の話し合いを大切にして、適宜必要な情報を正しく共有できるように、そして、その時々に合わせて援助を心がけています。
事業所名	小規模多機能かたぎはら	管理者	柿迫稔夫		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	0人	1人	4人	2人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ホームページのお知らせ欄を活用、更新をし施設をアピールしていく。	利用者さんへのケアを日常にされながら施設の事や地域に関する改善計画に向かって改善しようという努力はされていたと思う。人員体制が厳しかったりコロナ禍での制限を受けながら、地域とのかかわりの項目は「はい」にチェックがついた量が増えている。ホームページがまめに更新されるようになり、事業所の取組みがよく見える。機関紙の発行も増やされ、アピールにつながっている。	一生懸命取り組まれているように思う。 職員間で意見交換もされ、できていないところの改善も具体的に示されているので、少しずつでもいいと思うので頑張ってください。	読みたくなるような内容で広報を充実（ホームページの動画やQRコードの掲載等）させ、周囲に「かたぎはら」をより身近に知ってもらえる取り組みに慣れていく。 利用者の「～したい」の実現のため、思いの共有が見える化していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	遠くからでも判る建物にする為、車道側や2、3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。	コロナ禍で人の出入は慎重にならなければいけない中、いろいろな工夫がなされたと思う。玄関も明るく工夫されていて入りやすい雰囲気になっていると思う。平日は自由に入っていけるようになっているので閉鎖的ではない。土日祝は区社協が閉まっているので用心として閉めているのは良い。	見える位置に横断幕等は見えやすくして良い。 看板等は国道沿いは目を引くようなものは禁止されているが、ここは府道なので良いのではないかと。 確認するのであれば環境省や建設省、地域推進課などに聞いてみたら教えてくれる。 マスコットキャラクターを入れてはどうか 車通りからは入口がわかりにくく、わかるような表示は必要かもしれない。	「かたぎはら」とわかりやすくするため、外の磨り硝子の活用（横断幕やペインティング）を具体化させ、関係機関へ相談しながら着手する。 玄関口や建物側面の花壇を植物で飾るなど、美化活動を強化する。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>遠くからでも判る建物にする為、車道側や2、3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。チラシを地域住民にポスティングする。</p>	<p>挨拶はきちんとされていて、少しずつイベント等により知られる機会が多くなったと思われる。入口に区社協もあるので必要な時にはつないでもらっているので相談できている。地域のイベントがコロナ禍であまり動いていないが、公園体操など積極的に参加されている。</p>	<p>コロナ禍で地域との交流活動にあまりお誘いは出来なかったが、積極的に地域と関わろうと工夫されていたと思う。小学校で行われたフェスタには作品を展示してもらったりもしたが、当日に利用者の方を連れて見に来てくれたのは大変盛り上がり助かった。事業所としてはコロナでなかなか交流は難しい状況だが、よくやっておられると思う。やはり感染が怖いのと、何かあった時にとすると勇気が出ない。上手にタイミングを見てされているのだと思う。</p>	<p>地域と関われる取り組みの情報収集・参加と、イベントの企画・運営の安定的な実施。区民運動会の参加やベランダカフェの開催。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>イベントや会議は参加できるものは積極的に参加する。</p>	<p>改善計画については大変な状況の中、一生懸命取り組まれていたように思う。地域のイベントに関しては小学校のフェスタや公園体操など、できる限り参加を促したり少しずつ調整して来ておられた。利用者以外でも心配な方がいらっしゃれば関わっていただけていると思う。</p>	<p>本人の暮らしを支えるためにも地域に出る事を意識されていると思う。小規模多機能なのでいろいろな面から工夫がされている様子が見ええる。</p>	<p>地域での取り組みの情報収集を行い、利用者との関わりから在宅拠点での生活を考えられるよう地域に出向く。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>健康第一に考え、また感染対策を講じながら作品展が開催できるよう、作品を準備、検討を重ねる。</p>	<p>改善計画に書かれていた作品展は開催されていなかったが、フェスタという機会に作品を展示されていたので取り組みとしては出来ていたように思う。今年は第1回のみ対面でそれ以外はコロナにより書面開催となった。対面の時には気になる方のお話もあり、検討とまではいかなくても共有はできていた。</p>	<p>5月に「七夕でこういうことを考えています」という話があり、笹の提供の話にもつながって地域からも飾りをつけに来てもらっていた。事業の取り組みについては資料も使ってわかりやすく説明もされている。地域と一緒に取り組んでいきたいという姿勢が感じられる。</p>	<p>会議の内容が報告中心ではなく、取り組みの企画等を一緒に考え、有意義なものにしていく。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>引き続き訓練への参加、見学のお誘いをし、自治会、包括等へも呼びかけていく。</p>	<p>地域の防災訓練は事業所にお誘いしていない。 災害時は福祉避難所として活躍してもらいたい。 ここは土砂災害の警戒区域となっているが、具体的な計画がどうなっているのかはわからないところがある。</p>	<p>運営推進会議の日に合わせて防災訓練をしたことがある。 最近の防災訓練は避難所の運営に関する事が多く、避難訓練というよりもそちらの要素の方が強い。 災害の種類によっても避難の仕方が変わってくる。 地域での避難訓練の予定がわかれば教えてもらって、一緒に参加させてもらい、地域の避難の実情を知りたい。 せっかく運営推進会議でのつながりもあるので、近隣事業所同士で助け合えるネットワークが出来ると心強い。</p>	<p>災害について近隣の方と一緒に考えたり訓練する機会をもつためにも、地域を巻き込んだ消防や防犯関連のイベントを企画・実施していく。</p>
----------------------------	--	---	---	--